

## ≪宮代特別支援学校の活性化・特色化方針≫

<b>種別</b>	肢体不自由	<b>学部・学科</b>	小学部 中学部 高等部	<b>R5.5.1 児童・生徒数</b>	(男) 73 (女) 53	計 126
<b>アクセス</b>	東武スカイツリーライン「東武動物公園駅」より約2.5km					
<b>&lt;教育課程等&gt;</b>						
<p>児童生徒が生き生きと心豊かにたくましく学校教育を学ぶため、4つの教育課程を設定しています。その中で、児童生徒一人一人の心身の障害の状況や、発達の状況に応じてさらに工夫をして教育課程を編成しています。また、訪問教育を実施しています。</p> <p>【類型Ⅰ】小中高の各学年に準ずる教育課程                  【類型Ⅱ】小中高の目標・内容の一部又は全部を前各学年に替えて学習する教育課程                  【類型Ⅲ】各科目の目標・内容を知的特別支援学校の各教科の目標・内容に替えて学習する教育課程                  【類型Ⅳ】各教科等の内容の一部又は全部に替えて、自立活動を主として学習する教育課程</p>						
<b>&lt;学校行事・部活動&gt;</b>						
<b>前 期</b>			<b>後 期</b>			
4月	春季休業、前期始業式、入学式		10月	後期始業式、修学旅行（高3） 校内集団活動（高1）、わかば祭		
5月	遠足（小）、運動集会（中・高） 避難訓練		11月	修学旅行（小・中）、社会体験学習（中） 産業現場等における実習（高1・2・3）		
6月	運動集会（小）、社会科見学（小）、職場見学（中・高） 産業現場等における実習（高2・3） プール開始		12月	社会体験学習（小・中）、交流会（高） 長距離走記録会（高）、芸術鑑賞会 就学、転学に係る相談会 全校集会、冬季休業		
7月	社会体験学習（小） 校外集団宿泊学習（小5・中2） 全校集会、夏季休業		1月	授業公開		
8月	夏季休業		2月	高等部入学選考		
9月	社会体験学習（高）、校内集団宿泊学習（小4） 校外集団宿泊学習（高2） プール終了 前期終業式、秋季休業		3月	卒業証書授与式（小・中・高） 修了式、学年末休業		
<b>&lt;家庭・地域との連携&gt;</b>						
<p>ノーマライゼーションの理念に基づく教育の推進として、居住地の小中学校に「支援籍（さいたま市は「交流及び共同学習）」を置き、学習活動を共にしています。実施回数や内容については児童生徒の障害の特性や学習の状況を考慮し、実施しています。</p>						
<b>実施年度</b>	<b>小学部</b>	<b>中学部</b>	<b>合計</b>	<b>地 域</b>	<b>延実施回数</b>	
令和3年度	34人	9人	43人	5市2町	143回	
令和4年度	34人	10人	44人	5市2町	169回	
令和5年度	36人	8人	44人	5市2町		
<b>&lt;進路&gt;</b>						
<p>12年間の学習をとおして、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付け、以下の進路に進んでいます。</p>						
<b>卒業年度</b>	<b>就職</b>	<b>進学</b>	<b>リハセン</b>	<b>施設通所</b>	<b>施設入所</b>	<b>在家庭</b>
令和2年度	3人	0人	0人	10人	1人	0人
令和3年度	0人	0人	0人	10人	1人	1人
令和4年度	3人	0人	0人	10人	1人	1人



コバトン&  
さいたまっち

《学校の教育目標》 生き生きと 心豊かに たくましく  
 《目指す学校像》 『子供たちの 主体的な学びを みんなで支える学校』—認め合い、学び合い、支え合う—

## 本校の 特色

- ◇ 本校の教育方針 児童生徒一人一人の自己実現を支える教育の推進
- ◇ 教育内容の特色 児童生徒一人一人の心身の障害の状況や、発達の状況に応じて教育課程を編成
- ◇ 地域との連携 指導実践を集結した肢体不自由教育の発信拠点

## 行事

- 学部ごとに運動集会を実施し、元氣にからだを動かして達成感を味わい、仲間との交流を深めています。
- 文化祭(わかば祭)では、日頃の学習成果を発表し合い全校での交流とともに、保護者や地域の方々の理解を深める機会にしています。



## 小学部

- ① 基本的な生活習慣を身につけ、健康で安全に生活する。
- ② 集団生活での活動を通して、人とかかわる楽しさを知る。
- ③ 興味関心を広げ、自ら活動に参加していこうとする意欲を持つ。
- ④ 気づき、考え、わかる楽しさを知る。

## 支援籍学習

- 地域に居住する同年代の友達と年に数回地域の小・中学校で共に学び相互理解を深めています。
- 将来必要となる自立する力の育成を図ります。



## 個に応じた指導・支援

\*児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育を推進するために、教育支援プランを適切に計画し、合意形成に基づいた合理的配慮に努めます。

## 中学部

- ① 基本的な生活習慣を確立するとともに、心身の変化に気づき健康で安全な生活を送れる力を身につける。
- ② 集団生活での約束や役割を知るとともに、信頼と協力の心を持つ。
- ③ 自分の強みを伸ばすとともに、可能性を広げる。
- ④ 基礎学力を広げ、進んで学ぶ力を高める。

## 自立活動

\*自立活動は、児童生徒一人一人がよりよく生きていくための学習です。様々な学習等の基礎となる大事な領域です。

自立活動では、からだのことだけでなく、「見たり、聞いたり、感じたりして周りのことがわかること」「からだを健康に保つこと」「情緒の安定にかかわること」「人と上手にかかわれること」「自分の気持ちを表現すること」「相手の言うことがわかること」など、児童生徒一人一人のニーズに応じ、これらを目指して、学習しています。



自立活動の課題や内容について保護者の方と日頃から、情報交換や共通理解を図る機会を設定しています。また、必要に応じて医療機関等とも連携を図っています。

## 高等部

- ① 自己理解を深め、健康で安全に生活できる力をつける。
- ② 社会性を身に付け、自ら思いを伝え、人とかわらうとする力をつける。
- ③ 社会の中で主体的に生きていく力をつける。
- ④ 身につけた知識や技能を活用したり、応用したりする力を高める。



マスコットキャラクター  
とんがり君

## 産業現場等における実習

- 高等部の各学年において、企業や福祉施設と連携し実習を実施します。



宮代特別支援学校は、「つながる みらい」に向けて児童生徒を育てます。